



岡山市総合交通計画

Okayama City Comprehensive Transportation Plan

計画期間 2018年度～2027年度



はじめに

岡山市では、少子高齢化に伴う人口構造の変化や、近い将来の人口減少期の到来が見込まれる中で、圏域の中核都市としての活力を維持し、持続的に発展可能な都市づくりを進めるため、平成29年3月、将来を見据えた市政の羅針盤となる「岡山市第六次総合計画」を策定しました。

その中で、岡山市が目指す都市づくりの基本方向として「コンパクトでネットワーク化された快適で多様なまちづくり」を掲げ、鉄道やバス等の公共交通を中心に、地域特性に応じて、自動車、自転車、生活交通等を組み合わせて、利便性が高く、人と環境にやさしい交通ネットワークの構築を目指すこととしています。

市民にとって便利で利用しやすい交通環境を確保することは、高齢者や障がい者等の交通弱者の移動手段を確保することにとどまらず、ネットワークでつながる各地域のにぎわい創出や都市の魅力の向上、適度な運動による健康的な暮らしの実現、地域間の交流促進、社会参画機会の創出など、市民生活の質や都市の持続可能性を維持・向上させる上でも、大変重要なことと考えています。

こうしたまちづくりを推進するため、このたび、「岡山市総合交通計画」を新たに策定しました。

本計画では、「あらゆる人の交通環境を向上させ、人とまちを元気にする」をコンセプトに、「安全で快適な交通ネットワークをつくる」「日常の移動を便利にし、健幸な暮らしを支える」「歩いて楽しい都心空間に変える」「参加・協働により交通政策を進める」という4つの目標を掲げ、モータリゼーションの進展、利用者の視点、市民意識の観点から現状の課題を明らかにし、今後取り組むべき具体的な施策を位置づけています。

策定に当たっては、岡山市総合交通計画策定調査検討会を設置し、専門家や交通事業者、市民代表など、幅広く関係者の皆様からご意見をいただくとともに、市議会や都市・消防政策審議会において真摯なご議論をいただき、また、パブリックコメントを通じて、広く市民の皆様からご意見をいただきながら検討を進めてまいりました。ご支援・ご協力いただいた全ての皆様に、改めて厚くお礼申し上げます。

今後、市民の皆様方をはじめ、交通事業者や企業などと連携・協働の下、本計画に位置づけた施策を着実に推進し、将来にわたり安全・安心に利用し続けられる交通ネットワークの実現と、快適で多様なまちづくりを進めてまいります。

皆様方の一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



平成30年9月
岡山市長

大森 雅夫

目 次

| | |
|-----------------------------------|----|
| 1. 岡山市総合交通計画について | 1 |
| 1.1 計画策定の目的 | 2 |
| 1.2 上位計画とこれまでの交通計画 | 3 |
| (1) 岡山市第六次総合計画（上位計画） | 3 |
| (2) これまでの交通計画①：岡山市交通基本計画 | 6 |
| (3) これまでの交通計画②：岡山市都市交通戦略 | 8 |
| 1.3 計画体系 | 13 |
| (1) 計画の位置づけ | 13 |
| (2) 計画期間 | 13 |
| (3) 対象区域 | 13 |
| 2. 岡山市の現状と課題、将来見通し | 15 |
| 2.1 岡山市の現状と将来見通し | 16 |
| (1) 人口減少、高齢化、多様化する市民生活 | 16 |
| (2) 岡山都市圏の中心市としての役割 | 19 |
| (3) 増加する観光需要 | 20 |
| (4) まちづくりの進展 | 21 |
| (5) 財政負担を緩和するための都市づくりと健康増進 | 25 |
| (6) 新技術の開発 | 27 |
| 2.2 モーターゼーションの進展を主因とする課題 | 32 |
| (1) 自動車に過度に依存した暮らしからの脱却【課題1】 | 32 |
| (2) 路線バスの減便・廃止の抑制【課題2】 | 34 |
| (3) 交通不便地域の移動手段の確保【課題3】 | 37 |
| (4) 中心部ににぎわい創出【課題4】 | 39 |
| (5) 環境負荷の軽減【課題5】 | 42 |
| (6) 交通事故の抑制【課題6】 | 43 |
| 2.3 利用者の視点からみた課題 | 44 |
| (1) 利用可能なサービスの統一化【課題7】 | 44 |
| (2) バリアの解消【課題8】 | 44 |
| (3) 複雑なバス路線網の改善【課題9】 | 45 |
| (4) 渋滞箇所の解消【課題10】 | 49 |
| (5) 自転車利用環境の向上【課題11】 | 52 |
| (6) 自動車優先から歩いて楽しいまちづくり【課題12】 | 54 |
| 2.4 市民意識からみた課題 | 55 |
| (1) マイカー以外での移動を中心とする生活の実現【課題13】 | 56 |
| (2) 「バスの減便・廃止」に対する高い不安の払しょく【課題14】 | 57 |
| (3) 潜在的な自動車からの転換意向への対応【課題15】 | 58 |
| (4) 市民が求める公共交通サービス水準の実現【課題16】 | 60 |

| | |
|---------------------------------|-----|
| (5) 交通施策とまちづくりの連動性【課題17】 | 63 |
| 2.5 本市を取り巻く課題 | 64 |
| 3. 計画の基本方針 | 65 |
| 3.1 計画のコンセプト | 66 |
| 3.2 計画の目標 | 67 |
| 4. 交通体系の将来像と実現化方策 | 73 |
| 4.1 交通体系の将来像 | 74 |
| 4.2 将来像の実現化方策 | 78 |
| 4.3 主要施策 | 94 |
| (1) 桃太郎線LR T化 | 95 |
| (2) 路面電車の岡山駅前広場乗り入れ（東口広場の改良を含む） | 97 |
| (3) 環状道路・放射状道路の整備 | 100 |
| (4) ボトルネック交差点等の改良 | 101 |
| (5) バス路線網の見える化 | 102 |
| (6) バス停のバリアフリー化 | 104 |
| (7) 交通不便地域における新たな生活交通確保 | 105 |
| (8) 自転車走行空間の整備 | 109 |
| (9) 駐車場の再編 | 111 |
| (10) トラフィックゾーンの構築 | 113 |
| (11) 歩行・滞留空間の整備 | 115 |
| 5. 成果指標・目標値の設定と推進体制 | 117 |
| 5.1 成果指標・目標値の設定 | 118 |
| (1) 成果指標の設定 | 118 |
| (2) 目標値の設定 | 119 |
| 5.2 推進体制 | 124 |
| (1) 各分野の計画との連携 | 124 |
| (2) PDCAサイクルによる計画の着実な遂行 | 125 |
| 参考資料 | 127 |
| 参考1 岡山市総合交通計画策定調査検討会 | 128 |
| 参考2 岡山市総合交通計画策定調査検討会作業部会 | 130 |
| 参考3 将来の公共交通アクセシビリティの試算 | 132 |
| 参考4 交通サービスに関するアンケート調査 | 138 |
| 参考5 用語集 | 140 |